

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
専門学校麻生医療福祉 &観光カレッジ	平成8年3月4日	富田 博之	〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝3-3-1 (電話) 093-882-0001																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999																												
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																										
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科		平成22年文部科学省 告示第153号	—																										
学科の目的	多様化するホテル・ブライダル業界で、即戦力として活躍できる人材の育成を目標とする。 ホテルマン・ブライダル産業における基礎知識、専門技能、サービスマインド、語学力、パソコンスキルを有し、さらに現場での研修を通し、実務知識、実務能力を身に付ける。																														
認定年月日	平成26年3月31日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	1820時間	795時間	720時間	320時間	0時間	30時間																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
60人		36人	0人	2人	16人	18人																									
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度、確認テスト等の総合評価を行う。評定は、S・A・B・C・Dの5ランクとする。																										
長期休み	■夏季:8月1日～9月2日 ■冬季:12月21日～1月7日 ■春季:3月4日～4月7日			卒業・進級条件	ア.指定科目全ての修得 イ.各学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人、保護者への電話連絡や面談等を行う			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動等 ■サークル活動: 有																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) ホテル・ブライダル・旅行等 ■就職指導内容 担任ならびに就職担当者による受験指導、個別面談 保護者への就職説明会 ■卒業生数 17 人 ■就職希望者数 15 人 ■就職者数 15 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 88.2 % ■その他 : (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実用英語検定準2級</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>ABC検定</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>HRS検定3級</td> <td>①</td> <td>16人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>ホテルマネジメント検定B</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>マナー・マロコ検定3級</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ホテルマネジメント検定ベーシック2級 優秀賞1名 (2000名超受験者中 上位3%)			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	実用英語検定準2級	③	17人	13人	ABC検定	③	16人	6人	HRS検定3級	①	16人	11人	ホテルマネジメント検定B	③	17人	9人	マナー・マロコ検定3級	③	17人	15人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
実用英語検定準2級	③	17人	13人																												
ABC検定	③	16人	6人																												
HRS検定3級	①	16人	11人																												
ホテルマネジメント検定B	③	17人	9人																												
マナー・マロコ検定3級	③	17人	15人																												
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 ■中退率 2.6 % 平成29年5月1日時点において、在学者38名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者37名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(留学)			■中退防止・中退者支援のための取組 適性検査の実施、検査結果による面談、スクールカウンセラーの配置、クラス担任による定期ガイダンスや三者面談の実施																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																														
当該学科のホームページURL	http://www.asojuku.ac.jp/amkc/subject/hb/																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学生の主な就職先であるホテル、ブライダル業界における、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会では次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、業界で仕事をされている兼任教員や、学生の就職先企業の方との意見交換を随時行う。さらに、ホテル実習やブライダル実習の連携企業に評価表をいただいたり、卒業生の就職先企業に対しお客様アンケートを実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。

委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議は、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
白濱 正信	九州BMC 副会長	2018.4.1～2019.3.31(1年)	①
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル小倉 副総支配人 グループサービスチーム担当部長 (兼)グループサービスチーム長	2018.4.1～2019.3.31(1年)	③
沖田 由美子	レンタルブティック&ウェディング ウィズワタベ 代表取締役	2018.4.1～2019.3.31(1年)	③
津田 徳子	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 主任	2018.4.1～2019.3.31(1年)	
小形 享平	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 教務	2018.4.1～2019.3.31(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(毎年6月、11月)

(開催日時)

平成29年

第1回 平成29年 6月22日 16:25~17:05

第2回 平成29年11月10日 16:00~17:15

平成30年

第1回 平成30年 7月27日 16:00~17:00

第2回 平成30年11月 8日 16:00~17:00 (実施予定)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「外国人観光客の増加により、ホテル業界の現場では英語だけではインバウンド客とのコミュニケーションが足りない。」との意見を受けて、平成29年度カリキュラムから中国語と韓国語のいずれかを選択する授業を導入した。また、語学だけに留まらず、各国の文化・習慣・伝統を理解するために、第二外国語に触れた後、「マナープロトコル」を2年次前期に学ぶカリキュラムに変更。英語圏以外の文化的背景を持ったインバウンド客に対しても、コミュニケーションできる人材を育成するカリキュラムとした。

「マナーや接遇を理論で理解していても、実践的に対応する力が現場で不足している」という意見をふまえ、2年次後期には、演習系の授業を充実させるため、ビジネスマナーを追加した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ホテル、ブライダル業界を中心に広くサービス業に携わる学科であることから、お客さまに対するホスピタリティを学ぶため、企業と連携し現場実習を経験する。ホテル実習では、フロント、客室、ベル、レストラン等、ホテル内の多様な業務を体験させる。またブライダル実習では、ハウスイエディング、ホテルウエディング、ウエディング衣裳等の企業で実習を行うことで、実務レベルの技術を身に付ける。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

学生の実習目標を定め、事前に企業担当者と打ち合わせ及び覚書にて、業務内容・勤務時間・評価基準等の確認をする。実習期間中は、学生及び実習担当者とのヒアリングを行い、学生の能力向上が効果的にできるよう助言を行う。また専用記録ノートにより、具体的な業務の指示を明確にし、成果を確認する。最終評価として、実習先企業より学生ごとの評価表をいただく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する、10週間のホテル実習を通してホテルにおいて必要とされる知識・技能を修得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。	パークハイアット東京／八芳園／ペニンシュラ東京／コンラッド東京／東京ベイ舞浜ホテル／ヒルトン東京ベイ／シエラトングラント東京ベイ／ハイアットリージェンシー大阪／セントレジス大阪／リッツカールトン大阪／帝国ホテル大阪／リッツカールトン京都等 計14社
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してブライダル業界において必要とされる知識・技能を修得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。	アーフェリーク迎賓館小倉／株式会社リーガロイヤルホテル小倉／小倉ターミナルビル株式会社ステーションホテル小倉／ブライダルハウスはなだ／株式会社山田屋／日比谷花壇等 計11社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・ブライダル業界セミナー

連携企業等： 株式会社八芳園

日程： 平成30年2月19日

内容： 八芳園 現役業界人と総務人事担当者による講演会。
ブライダル業界の現状と業界で求められる人材に関する講話。

対象： 教員1名

・宮崎辰氏 特別講演会 & デクパージュディナー

連携企業等： 北九州ウェイター向上委員会、ホテルアルモニーサンク

日程： 平成30年2月5日

内容： メートル・ド・テルという仕事について サービスマンの心構え
「ゲストの期待を超える賞賛されるサービス」

対象： 教員1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

・一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催 専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修

連携企業等： 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

日程： 平成29年8月1日～3日(3日間)

内容： 学生・教員のための実践心理、専修学校と制度、専修学校における職業教育

対象： 教員1名 (平成28年度同研修を受講をした教員)

・発達障がいの理解について

連携企業等： NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっふ

日程： 平成29年4月27日

内容： 発達障がいに対する理解、事例を踏まえたワーク、社会に出るまでに習得させること

対象： 教員2名

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・ホテル業界合同セミナー（オータパブリケーション主催）
連携企業等： オータパブリケーション
日程： 平成31年2月
内容： ホテルの人事担当者による求める人材育成についての講演
対象： 教員1名

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・発達障がいの理解～具体的対応と支援について～
連携企業等： 有吉祐睡眠クリニック
日程： 平成30年6月28日
内容： 発達障がいの基礎、発達障がいの疑いのある学生へ専門学校ができること、
学生に対してどのような支援ができるか
対象： 教員1名
- ・コーチング実践
連携企業等： 組織デザイン・ラボ
日時： 平成30年8月30日 13:00～17:30
内容： 学生のやる気を引き出し、自発的な行動を起こさせる、学生支援スキルを高める。
学校における学生・保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ
対象： 教員1名

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の教育方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者の参画を得て、包括的・客観的に判定する事で、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また情報を公表する事により開かれた学校作りを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成29年度学校関係者評価委員会にて、「学習指導において支援の必要な学生の情報共有が徹底できていない」と指摘があった。この指摘に対し、個別支援計画書を作成し、サポートリストに基づき学生指導を実施するシステムを体系化することとした。また、学習支援体制として国語補講、コミュニケーション講座を実施することとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
青木 圭子	福岡県立折尾高等学校 校長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	高等学校教員
安部 久美子	ホテル・ブライダル科在校生保護者	2017.4.1～2019.3.31(2年)	保護者
井手 國昭	三六まちづくり協議会 会長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	地域住民
柿本 奈々	エアライン科卒業生	2018.4.1～2020.3.31(2年)	卒業生
今仁 優衣	子ども福祉科卒業生	2018.4.1～2020.3.31(2年)	卒業生
上田 恵理奈	医療秘書科卒業生	2018.4.1～2020.3.31(2年)	卒業生
小山 勇毅	医療法人今光会 今光ホームケアクリニック 事務長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
沖田 由美子	レンタルブティック&ウエディング ウィズワタベ 代表取締役	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 管理部部長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
城田 浩太郎	介護福祉科卒業生	2018.4.1～2020.3.31(2年)	卒業生
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル小倉 副総支配人 グループサービスチーム担当部長 (兼)グループサービスチーム長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
能美 和則	学校法人青山学園 青山幼稚園 理事長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
永田 秀之	社会福祉法人 西日本至福会 総務課長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
守田 昇平	医療法人医和基会 戸畑総合病院 事務次長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者
久本 二尊	株式会社スターフライヤー 執行役員 総務人事部長	2018.4.1～2020.3.31(2年)	企業・業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供する事で、学校運営の透明性を図ると共に、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、ASOの考え方
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格・検定、就職情報、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動、サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集、グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/amkc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ホテル・ブライダル科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホテル・ブライダル業界研究	情報収集の方法を学び、ホテル・ブライダル業界に関する知識を深める	1前	15		○			○		○		
○			レストラン実務①	レストランでのサービスについて実践形式で学ぶ	1前	30			○		○			○	
○			レストラン実務②	レストランでのサービスについて実践形式で学ぶ	1後	30			○		○			○	
○			接客演習	サービス業界で通用する接客マナーを学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			バンケット演習	ホテルなどで行われる宴会業務について学ぶ	1後	15			○		○			○	
○			ホテル概論①	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について学ぶ	1前	15		○			○			○	
○			ホテル概論②	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について学ぶ	1後	15		○			○			○	
○			宿泊実務①	宿泊部門の役割、業務内容について実践形式で学ぶ	1前	15		○			○			○	
○			宿泊実務②	宿泊部門の役割、業務内容について実践形式で学ぶ	1後	15		○			○			○	
○			GCB I	感謝心と思いやりを学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			GCB II	志について学ぶ	1後	15		○			○		○		
○			ウェディングセレモニー概論①	ブライダルの歴史、慣習から、結婚式の形式などについて学ぶ	1前	30		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウェディング セレモニー概 論②	ブライダルの歴史、慣習から、結婚式の形式などについて学ぶ	1 後	15		○			○			○	
	○		中国語 ※A	韓国語で基本的な日常会話を養う	1 後	45			○		○				○
	○		韓国語 ※A	中国語で基本的な日常会話を養う	1 後	45			○		○				○
○			ブライダルア イテム演習	衣装、ブーケ(ブライダル)、ヘアメイク・ ネイル(トータルビューティ)についての 知識を深める	1 後	15			○		○			○	
○			一般教養 I - ①	就職試験対策として一般常識・時事問題など の応用事項を学ぶ	1 前	15		○			○				○
○			一般教養 I - ②	就職試験対策として一般常識・時事問題など の応用事項を学ぶ	1 後	15		○			○				○
○			サービス接遇	接客業をはじめ、幅広い分野において必要 なビジネス文書作成などのスキルを習得す る	1 前	45		○			○				○
○			実用英語 I - ①	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	1 前	60		○			○			○	
○			実用英語 I - ②	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	1 後	60		○			○			○	
○			英会話 I -①	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜな がら総復習を行う。	1 前	30			○		○				○
○			英会話 I -②	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜな がら総復習を行う。	1 後	30			○		○				○
○			自己表現	自己分析を行い、表現するテクニックを学 ぶ	1 後	15			○		○			○	
○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の 取得を目指す	1 前	30			○		○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	1後	30			○		○				
○			社会教養 I	企業研究、履歴書の書き方など就職活動に必要な知識の習得を目指す	1後	30			○		○				
○			ホテル・ブライダルゼミ	自分を表現する手法として人前で話す能力を養う	1前	15			○		○				
○			実用英語補講 I	模試を中心とした検定直前対策を行う	1後	15			○		○				
○			ホテルスタッフ教養	サービス介助、ゴルフマナーなど、ホテルスタッフとして備えておくべき教養を身につける	2前	15			○		○				
○			ビジネスマナー	接客業をはじめ、幅広い分野において必要なビジネス文書作成などのスキルを習得する	2後	30			○		○				
○			ソムリエ	ワインについての基礎的な知識を学ぶ	2後	15			○		○				
○			ブライダルコーディネート演習	披露宴においてテーマに基づいたコーディネートについて学ぶ	2前	30			○		○				
○			テーブルコーディネート演習	披露宴でのサービス及びテーブルコーディネートについて学ぶ	2後	30			○		○				
○			イベントプランニング演習	披露宴のプランニングについて学ぶ	2後	30			○		○				
○			HRS 対策 実技対策①	HRS 検定の取得を目指し、実技の対策授業を行う	2前	30			○		○				
○			HRS 対策 実技対策②	HRS 検定の取得を目指し、実技の対策授業を行う	2後	15			○		○				
○			HRS 対策 筆記	HRS 検定の取得を目指し、筆記の対策授業を行う	2前	45			○		○				

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ホテルマネジメント①	ホテル経営を中心に幅広く学び、各自テーマを決めて研究する	2前	30		○			○			○		
○			ホテルマネジメント②	ホテル経営を中心に幅広く学び、各自テーマを決めて研究する	2後	15		○			○				○	
○			観光概論	観光旅行業界の歴史と現状を学ぶ	2前	15		○			○					○
○			バーテンダー	カクテルを中心に酒について学び、オリジナルカクテルの製作を目指す	2後	30				○	○					○
○			A B C 検定対策	業界で必要な実務知識で、ブライダル協会の中の全国唯一の技能検定の取得を目指す	2後	45		○			○			○		
○			色彩・配色①	色彩についての基礎知識を学び、色彩検定の取得を目指す	2前	45		○			○					○
○			色彩・配色②	色彩についての基礎知識を学び、色彩検定の取得を目指す	2後	15		○			○					○
○			ウェディングプラン演習	結婚式、披露宴の企画・演出能力を養う	2前	15				○	○					○
○			トータルビューティー演習	メイク、ヘアメイク・ネイルなど美しさをトータルにコーディネートするための知識を学ぶ	2後	30				○	○					○
○			一般教養Ⅱ	就職試験対策として一般常識・時事問題などの応用事項を学ぶ	2前	30		○			○					○
○			実用英語Ⅱ-①	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	2前	60		○			○					○
○			実用英語Ⅱ-②	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	2後	60		○			○					○
○			英会話Ⅱ-①	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜながら総復習を行う。	2前	30				○	○					○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英会話Ⅱ-②	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜながら総復習を行う。	2後	30			○		○			○	
○			社会教養Ⅱ①	企業研究、履歴書の書き方など就職活動に必要な知識の習得を目指す	2前	30			○		○			○	
○			プレゼンテーション演習	パワーポイントを有効活用できるプレゼンテーションスキルを習得する	2前	30			○		○				○
○			実用英語補講Ⅱ	模試を中心とした検定直前対策を行う	2後	30			○		○			○	
○			プロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30			○		○				○
○			ブライダル実習	地元のブライダル施設を対象にした現場実習を行う	1後	80					○		○	○	○
○			ホテル実習	全国のホテルを対象に、実際の現場にて実習を行う	1前	240					○		○	○	○
合計			57 科目		1820単位時間(単位)										
「選択必修科目は※Aの中から1科目選択」															
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
ア. 当該学科の所定の科目をすべて履修していること。 イ. 卒業基準検定を取得していること。 ウ. 学年の出席率が90%以上であること。 エ. 各授業科目の授業回数の3分の2以上出席し、Cランク以上の評価を取得する。								1学年の学期区分				2期			
								1学期の授業期間				15週			